

糖尿病患者における npRQ と栄養素摂取量密度、体組成の関連の検討

1. 研究の対象

2017年5月～2019年11月に内分泌代謝・腎臓内科で糖尿病教育入院をされた方で、「糖尿病患者における T_{xn}ip と骨量の連関」の臨床研究への参加に同意いただいた方

2. 研究目的・方法

目的：

糖尿病患者における、食物摂取頻度調査 (FFQg)、非蛋白呼吸商 (npRQ)、体組成評価は、個々の患者に栄養指導を行う上で極めて重要な要素となります。

糖尿病患者において、非蛋白呼吸商 (npRQ) と栄養素摂取量密度 (エネルギー1000 kcal 当たりの栄養素量)、体組成の関連の検討は少ないです。

2017/5-2019/11 に糖尿病教育入院した患者さんにおいて、FFQg による栄養素摂取量密度の評価、安静時基礎代謝と npRQ の実測、体組成を測定し、npRQ と栄養素摂取量密度、体組成の関連の検討を行います。

方法：

入院2週目に、前日夜絶飲食を開始し11.5時間後に、当日の空腹時血糖値が180 mg/ dL 以下であることを確認の上、AE-310S (ミナト医科学) を用いて安静仰臥位で、酸素消費量と二酸化炭素産出量を測定し、尿中尿素窒素量より蛋白燃焼を推定し、npRQ を算出します。FFQg の解析はエクセル栄養君 ver. 8 (建帛社製) を用いて行います。体組成はDXA法で測定し、Lean mass index (LMI) kg/m²、Fat mass index (FMI) kg/m² を算出します。

研究期間は2019/12/12～2022/3/31までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、身長、体重、性別、年齢、基礎代謝測定値、体組成測定値、血液生化学検査値等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：藤本 新平

高知大学医学部内分泌代謝・腎臓内科、糖尿病センター

電話：088-880-2343

-----以上